

行動目標	自己評価 指導医評価 達成度
(1) 患者、家族への面接、問診、説明ができ適切な意思疎通ができる。	A－B－C
(2) 視診、触診、聴診、神経学的検査等の理学的検査ができる。	A－B－C
(3) 基本的検査1(検尿、検便、血算等)について自ら検査を実施し、結果を解釈できる。	A－B－C
(4) 基本的検査2(生化学検査、免疫学的検査、肝機能検査、腎機能検査棟)について適切に選択・指示し、結果を解釈できる。	A－B－C
(5) 基本的検査3(画像、内視鏡、病理検査等)について適切に検査を選択・指示し、専門家の意見に基づき結果を解釈できる。	A－B－C
(6) 注射、採血等の基本的手技が実施できる。	A－B－C
(7) 基本的治療法1(薬剤の処方、輸液等)の適応を決定し実施できる。	A－B－C
(8) 基本的治療法2(副腎皮質ステロイド*薬の使用等)の適応を決定し指導医の基に実施できる。	A－B－C
(9) 基本的治療法3(外科的治療等)の適応を決定できる。	A－B－C
(10) 頻度の高い各種急性・慢性疾患に対して患者の心理的・社会的側面をも考慮して適切に対応できる。	A－B－C
(11) 救急患者に対して適切に処置し、必要に応じ専門医に診療を依頼できる。	A－B－C
(12) 他の医師、各種医療職員、医療事務員等の役割を理解し協力して業務を行える。	A－B－C
(13) 保険医療に関する法規、医療保険制度、地域保健等について理解を深める。	A－B－C
(14) カルテ、診断書、紹介状等の文書が適切に作成でき正確に伝達できる。	A－B－C
(15) 総合的に問題点を分析・判断し診療計画を立案しその結果を評価できる。	A－B－C